

# Touch

タッチ

第47号  
編集・発行

春日部市青少年育成推進員協議会

広報部会(武里団地・庄和地区)

事務局

春日部市こども未来部こども政策課内

TEL 048-736-1111

内線 2573・2574

## 地域と家庭 学校の架け橋となつて



### ～パンジー苗植えボランティア～

春日部南中学校では、旧谷原中学校と旧中野中学校のボランティア活動を継承しています。しかし、コロナ禍にあって地域へ出て活動することができず、今年度は校内のボランティア活動を行いました。

この活動に多くの生徒が参加し、たくさんの花の苗を植えてくれました。今、春日部南中の正門に入ると、色とりどりのパンジーが出迎えてくれます。苗植え以外にも、落ち葉掃きや学校を美しくする活動に取り組んだ生徒たち。いつかまた地域でボランティア活動をしてくれる頼もしい「はるなん生」の姿を楽しみにしています。

守りたい良い環境を 子どもたちのために!!

# 学校訪問で見つけた 元気いっぱい！ 春日部の子どもたち

## ✿✿✿✿✿✿✿✿ 江戸川小中学校訪問 ✿✿✿✿✿✿✿✿

10月1日（金）に開校3年目となる江戸川小中学校を訪問してきました。

訪問させていただいた時には、分散登校も終わり、通常の体制で活動していましたが、分散登校の様子や、先生方のご配慮等たくさんのお話を伺うことができました。

また、その日は7学年から9学年の行事で「江戸川フェスティバル」を体育館で行っているということで見学させていただきました。体育館ではマスクを着用してはいるものの、元気に楽しそうに遊ぶ子どもたちがいました。

ジュニアクラスでも、教室でダンスを行っていたり、教育実習の先生のお別れ会の練習をしていたり等、たくさんの笑顔がありました。

学校行事が色々中止になる中で、子どもたちにとって今しか体験できない学校生活での思い出作りを実行している学校の体制に先生方の熱意を感じました。

10月中旬にはテレビ取材にも応じるということで、情報発信にはオープンな学校と感じました。

プライバシーの配慮もしっかりしていて、先生方の気苦労や労力は計り知れないと思いました。

また、コロナの影響が拭い去れない中、快く訪問の依頼に応じていただき感謝しております。ありがとうございました。



※江戸川小中学校は、ジュニア（1～4学年）・ミドル（5～7学年）・ハイ（8～9学年）で、9カ年一貫教育の学校です。

## ✿✿✿✿✿✿✿✿ 武里団地地区学校訪問 ✿✿✿✿✿✿✿✿

11月26日（金）に武里南小学校・春日部南中学校を訪問し、12月9日（木）は武里西小学校を訪問しました。

昨年度は出来なかった行事を工夫して実現し、子どもたちは“今だからできること”を楽しみながら笑顔で取り組んでいました。

手洗い・うがい・マスクは勿論のこと、オンライン授業や黙食等々、今では当たり前のことのように取り組む子どもたちが頼もしく見えました。

子どもたちと日々向き合う学びの場を、全力で応援していこうと思えた学校訪問でした。



地区名	推進員氏名	担当小・中学校
粕壁(東)	渡辺 伸江	粕壁小・緑小・ 春日部中・緑中
	土屋 美佳	
	遠藤 節子	
	池田 耀子	
粕壁(西)	永田 祐子	八木崎小・ 粕壁小・上沖小・ 春日部中・大沼中
	松坂 和子	
	大川 寿子	
	岩下 裕美	
内 牧	吉田 理子	内牧小・春日部中
	長壁 知子	
	齋藤 真衣子	
	渡部 由宜子	
豊 春	入澤 人美	豊春小・立野小・ 宮川小・豊春中・ 大增中
	丹伊田 久美子	
	秋元 幸子	
武 里	山崎 富美男	上沖小・備後小・ 正善小・武里小・ 大沼中・武里中
	金重 光江	
	石川 ヤヨヒ	
	中村 記代子	
	茂木 静子	
	石川 友和	
	鈴木 由美	
幸 松	中條 一世	幸松小・小淵小・ 牛島小・東中
	加島 典子	
	増田 さとみ	
	鈴木 京子	
	佐藤 明子	
	小野 美恵子	
	内山 睦子	
	清水 明子	
豊 野	新井 由美子	豊野小・藤塚小・ 牛島小・豊野中
	高橋 るり子	
	渋谷 千恵子	
	西郷 由美	
	浄閑 和美	
	栗野 江里子	
	細谷 知恵	
武里団地	横川 ひと美	武里南小・ 武里西小・ 春日部南中
	篠原 公子	
	矢島 順子	
	大木 眞嗣	
庄 和	小沼 久代	桜川小・南桜井小・川辺小・ 中野小・葛飾中・飯沼中・ 江戸川小中
	江ヶ崎 聖子	
	山田 てる美	
	山田 晃平	
	新井 聡美	

## 三市合同研修会

この研修会は青少年健全育成という目的の一つにしている三市（草加・越谷・春日部）及び近隣市町（三郷・八潮・吉川・松伏）の推進員が一堂に会し、情報を共有しながら推進員としての資質向上を図る研修会です。

昨年はコロナ禍の為、中止となりましたが今年は初めて「オンライン講演会」の形で開催をしました。

NPO法人キッズドアの今井久子氏に「子どもの貧困について」ご講演いただきました。

10月8日撮影、編集作業の後、11月1日から10日間動画の配信をしました。

一堂に会しての意見交換はできませんでしたが、視聴後のアンケート回答を載せさせていただきます。

- ・テーマがタイムリーで興味深く関心を持って聞けた。
- ・子どもの貧困は見えにくいと分かった。
- ・子どもの貧困率が7人に1人という事実には驚いた。
- ・経済格差によって学習、学びの機会が失われる不幸。
- ・誰もが平等に教育を受けられる社会に！
- ・継続的に支援できる社会のしくみ作りが必要。
- ・「何かを始めると何か応援してくれる人達が集まってくる」との言葉に、私でも何かできる事があると思った。
- ・身近な所として学校訪問を充実させていきたい。
- ・子どもの貧困はその家庭、親への支援が重要。

等々、沢山の感想を寄せていただきました。

新しい社会課題として「子どもの貧困」はコロナ禍という悪い意味での“後押し”もあり、深刻さを増しています。

だからこそ私たちは、無関心ではなく「おせっかいな隣人」でいたいと思います。声を上げるのは勇気があることです。誰かがではなく、みんなで声を上げられる社会になってほしいと願います。



# 活動報告

- 4・19 県団体委嘱式・全体研修会
- 4・28 令和3年度総会  
(書面)
- 9・3 連携活動実行委員会  
青少年育成春日部市民会議家庭の日ポスター選考会
- 10月～ 学校訪問活動
- 10・29 家庭の日啓発品配布
- 11・1～10 三市合同研修会  
(動画配信)
- 11・27 青少年育成春日部市民会議読み聞かせ公演会
- 11・30 連携活動実行委員会
- 12・1～10 全体会  
(動画配信)
- 12・19 連携活動事業「親子サイエンスショー」
- 1・20～30 青少年育成春日部市民会議環境浄化活動講演会  
(動画配信)



# 委嘱式

令和3年4月19日(月)  
第3期青少年育成推進団体委嘱式が行われました。



▲委嘱式での決意表明

青少年育成埼玉県民会議会長(県知事)より令和3年4月1日～令和5年3月31日を任期として委嘱を受けました。青少年育成推進団体とは、青少年育成埼玉県民会議会長が委嘱する「地域の青少年育成ボランティア団体」です。地域の子どもたちを見守り、家庭・地域・学校の連携の推進を図ったり、家族の絆を深める日である「家庭の日」を啓発したり、青少年の健全育成に係る市や地域の行事に参加協力するなどの活動を行っています。委嘱式では金重会

長が決意表明を行い、未来を担う青少年の健全育成を図るため、地域で見守り育てる活動に全力を尽くすことを誓いました。

# サイエンスショー

令和3年12月19日(日)

「親子サイエンスショー」  
「サントさんと怪盗の科学対決」を開催しました。

当協議会、青少年育成春日部市民会議、春日部市PTA連合会、公益社団法人春日部法人会春日部支部の4団体で構成される連携活動実行委員会と市教育委員会の共催で「親子サイエンスショー」を開催しました。  
東京大学サイエンスコミュニ



# 家庭の日

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。  
「家庭の日」です。



薄れつつある家族の絆を大切にし、子育てを支える家族や地域の絆の重要性を考える日として、埼玉県・県教育委員会・青少年育成埼玉県民会

ニケーションサークルCAS T(キャスト)を講師にお招きし、怪盗にプレゼントをお奪われてしまったサントさんが、プレゼントを取り戻しに行く道中で披露される様々な実験を通して、親子105組、計292人が科学の楽しさを学びました。昨年度はコロナにより直前で中止となりましたが、今年度は入場者数や観覧席を工夫し、感染症対策を講じたうえ無事に開催することができました。今後も関係団体と協力して、子どもたちに体験活動の場を提供したいと思います。

議では毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めています。忙しい毎日ですが、家庭の日には家族みんなで集まって食事や会話をしたり、地域行事に参加したりするなど、温かくふれ合い、笑顔あふれる時間を過ごしていただきたいと思っています。  
当協議会では毎年、児童館のイベントや市内イベント会場等で啓発品(絆創膏)の配布を行っています。コロナ禍のため、昨年度に引き続き直接配布は行えず、学校経由での配布や児童館への設置による啓発を行いました。

# 編集後記

今年度は、昨年に引き続き新型コロナウイルスにより、今まで同様の活動ができませんが、「できる事から始めよう。」と動画配信による講演会を開催する事となりました。学校訪問では、感染対策をしながら先生方のご協力を頂きありがとうございます。これからも、『地域と家庭と学校の架け橋』となって活動を続けてまいります。